



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和元年 6月 19日

那覇市長 殿

提出者

住 所 那覇市松山一丁目1番14号
 氏 名 東洋建設株式会社沖縄営業所
 所長 松本典人

電話番号 098-868-5644

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成30年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋建設株式会社 沖縄営業所
事業場の所在地	那覇市松山一丁目1番14号
事業の種類	総合建設業(総合工事業)
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	754.8t	全処理委託量	754.8t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	273t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	754.8t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:コンクリートがら)

(単位:トン)

(第2面)

有償物量
不要物等発生量

不要物等発生量

排出量	実積値
①排出量	1.43t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑪全処理委託量	1.43t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.43t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら直接 再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	1.43t
⑨	1.43t
自ら中間処理した後 自ら中間処理した 後の残さ量	1.43t
⑥	1.43t
自ら中間処理 した量	1.43t
④	1.43t
④のうち熱回収 を行った量	1.43t
⑤	1.43t
自ら中間処理によ り減量した量	1.43t
⑦	1.43t
直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量	1.43t
⑩	1.43t
⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	1.43t
⑫	1.43t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設木くず)

(単位: t・t)

有償物量		不要物等発生量		排出量		自ら直接再生利用した量		自ら中間処理した後再生利用した量		自ら中間処理した後海洋投入処分又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の中間処理を行った量		自ら中間処理により減量した量		直接及び自ら中間処理した後の中間処理委託量		自ら中間処理した後熱回収認定業者への処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量			
①	1.92t			②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪	
①排出量	1.92t	実績値		②+③自ら再生利用を行った量	0t	④自ら中間処理した量	1.92t	⑤自ら熱回収を行った量	0t	⑥自ら中間処理により減量した量	0t	⑦		⑧		⑨		⑩	1.92t	⑪			
②+③自ら中間処理により減量した量	0t			③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	0t	⑤自ら中間処理を行った量	0t	⑥自ら中間処理により減量した量	0t	⑦		⑧		⑨		⑩	1.92t	⑪			
⑤自ら熱回収を行った量	0t			⑦自ら中間処理により減量した量	0t	⑧		⑨		⑩		⑪											
⑦自ら中間処理により減量した量	0t			⑩直接及び自ら中間処理した後の中間処理委託量	1.92t	⑪																	
⑩直接及び自ら中間処理した後の中間処理委託量	1.92t			⑪																			
⑪のうち優良認定業者への処理委託量	0.96t			⑫再生利用業者への処理委託量	0.96t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0t	⑮熱回収を行った業者への処理委託量	0t	⑯		⑰		⑱		⑲		⑳		㉑	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.96t			⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0t	⑮熱回収を行った業者への処理委託量	0t	⑯		⑰		⑱		⑲		⑳		㉑		㉒	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(管理型含む))

(単位: t)

不要物等発生量

有償物量

自ら直接
再生利用した量
②

排出量
① 7.28t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目	実績値	
①排出量	7.28t	
②+③自ら再生利用を行った量	0t	
⑤自ら熱回収を行った量	0t	
⑦自ら中間処理により減量した量	0t	
⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	
⑪全処理委託量	7.28t	
⑫優良認定処理業者への処理委託量	0t	
⑬再生利用業者への処理委託量	0t	
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0t	
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した後
自ら中間処理による減量した量
⑩

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑪

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑫

⑪のうち再生利用
業者への処理委託量
⑬

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑭

⑪のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑮

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。